



横浜市立太尾小学校

学校だより

令和2年度1月号

令和3年1月12日発行

< 豊かに学び ともに未来をひらく 太尾の子 >

今年もよろしくお願ひいたします

校長 館 雅之

今年の年明けは今までにない緊張感があつたのではないのでしょうか。報道による12月末の感染者数の激増は、その傾向にあることはわかっていたものの、予想をはるかに上回るものでした。そのような中、三が日の天候は穏やかで、雲一つない空を見ていると、その静寂さから動じない自然の偉大さを感じ、それと緊張感を同時に感じる自分があることに今までにない感覚を覚えました。

今年は丑年です。十二支の動物の中で動作が最も緩慢で歩みの遅い牛（丑）の年は、先を急がず一步一步着実に歩むことが大切な年とも言われます。本校の教育活動も目の前のことのみを追われ、焦るのではなく、一步一步を確実に積み重ねていこうと考えております。どうぞ、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

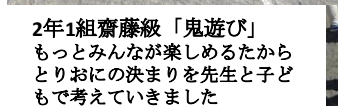
先生も学ぶことが大切

12月23日に校内授業研究会を行いました。授業研究は日本で始まった教員研修の形態で、その有効性に注目が集まり、海外では「Lesson Study」という名称で取り入れる国が多くなってきています。これは、日本の誇れる学校文化だと私は考えています。本校では、「すべての子どもたちが主体的に取り組む授業」を目指し、授業を全職員で参観し、その後、研究協議会を行っています。この日は、2年1組と4年2組の体育の授業をもとに、教育委員会の指導主事を講師にお招きし、指導法や子どもの学びのとらえ方を研修しました。例年、このような機会を多く設定し、職員の指導力向上を図っていましたが、今年度はなかなか多くの人が集まるのが難しいため、工夫しての研修会実施となっています。

学びの主人公は「子ども」であります。その学びをたすける教師自身が学んでいなければ子どもの学びを理解することは難しいと考えます。これからの教師は「教えるプロ」とあるとともに「学びのプロ」になることが重要であると思っています。このような機会を通して、教師自身も学んでいます。



4年2組関口級「クワボール」
たくさん点が取れる作戦をチームで考え、ゲームを楽しんでいきました



2年1組齋藤級「鬼遊び」
もっとみんなが楽しめるたからとりおにの決まりを先生と子どもで考えていきました



研究協議と指導主事による指導講評。
体育科の学習評価や密にならない体育学習について学びました

1月7日に「緊急事態宣言」が出されました。学校については授業を引き続き行いますが、感染症拡大予防対策をさらに徹底、継続していきます。共通に行う取組は継続しますが、お子さんの状況により、ご家庭の判断で予防をさらに進めていただいで構いません。下記を参考にお子さん、担任と相談してください。

【共通に行う取組の例】

- 家庭での検温、健康観察の実施とそれを記載した健康観察票をもとにした児童の健康観察。
- マスクの常時着用。ただし、例えば下記のような活動の際は、それぞれの留意点を徹底したうえで、マスクを着用しない場面もある。
 - ・給食の食事中は全員が同じ方向を向き、会話を控え静かに食べる。食べ終わりしだいマスクを着用。
 - ・体育の活動においては十分な身体的距離がとれており、十分な呼吸ができる活動であれば時間を限定してのマスクを着用しない活動はあり得る。
 - ・音楽のリコーダーや鍵盤ハーモニカなどの活動では、間隔を十分にとったうえで、演奏後にこまめにマスクを着用し、時間を限定した活動はあり得る。
- 手洗いの指導を徹底する。

【お子さんの状況によりご家庭の判断等で取り組む例】

- 学校で教室に消毒液を用意しますので、担任が把握する範囲で使用する。
- 家庭から個人用に消毒液や消毒シートを持参し、使用する。
- 給食時に、家庭から持参したフェイスシールド等を使用する。
- 飛沫感染防止のため、家庭からアクリル板などの遮蔽するものを持参し、使用する。

**感染症
拡大防止**